

物流政策懇談会論点整理（案）

議論の進め方

我が国の産業構造、経済構造の変化を踏まえて物流政策の方向性を示すことが必要。

円滑な国際物流の実現

《国際物流への取組》

アジアにおける物流に対し戦略を持って取り組むべきではないか。

《インフラ整備・活用》

国際物流拠点の機能強化が必要なのではないか。

主体間の連携・協働

《官民の連携》

官民の役割分担を整理し、連携を推進すべきではないか。

《事業者間の協働》

荷主、物流事業者に加え、バイヤーにも目を向けて物流効率化や商慣行に関する議論を進めるべきではないか。

グリーン物流への取組

《グリーン物流パートナーシップ》

荷主・物流事業者が一体となった環境への取組を推進していく必要があるのではないか。

《既存政策の発展》

モーダルシフトの促進に向け規制緩和等を講じていく必要があるのではないか。

トラックの積載効率を上げるための具体的取組を促進すべきではないか。

社会経済的な仕組みの普及を推進する必要があるのではないか。

《新技術への対応》

CNG大型車の開発・普及の促進を図るべきではないか。

高度物流拠点の整備・活用

《物流拠点の立地最適化》

荷主の戦略的なＳＣＭに対応できる高度ロジスティックハブを形成する必要があるのではないか。

《物流拠点関係規制の改革》

物流施設については、その最適配置に対する支援策、規制の見直しが必要なのではないか。

交通基盤の整備・活用

《総論》

必要な社会資本は計画的かつ早急に整備すべきではないか。

《貨物自動車交通の円滑性向上》

貨物車に対して弾力的な料金施策を実施すべきではないか。

貨物車の通行規制に関し、有効な施策を検討すべきではないか。

旅行時間情報と交通情報を共有する官民のプラットフォームを形成すべきではないか。

《都市内物流》

ハード、ソフト一体となった都市内物流施策を地方自治体等の関係機関と物流事業者とが連携して推進すべきではないか。

まちづくりや建築の面においても都市内物流に対する配慮を深めるべきではないか。

《マルチモーダルネットワークの構築》

[道路関係]

道路と空港・港湾との連携、ＩＣと生産地・消費地を結ぶ道路整備などを推進すべきではないか。

都市圏の渋滞問題の解消を図るべきではないか。

大型車の走行可能区間を一層増加させるべきではないか。

[鉄道関係]

積極的な鉄道インフラ整備が必要ではないか。

港湾貨物の鉄道への積み替え利便性の向上を図るべきではないか。

[港湾関係及び空港関係]

国際港湾・国際空港のロジスティクスハブの形成を推進すべきではないか。

空港・港湾における国際輸送と国内輸送との間の円滑性を向上すべきではないか。

[行政組織関係]

各省横断的な行政組織を設けるべき。

情報化・標準化の推進

《ＩＣタグ等の標準化の推進》

ＩＣタグ、ＥＤＩ、ユニットロード化等の標準化が必要。

《ＩＴＳ（高度道路交通システム）の推進、新展開》

ＩＴＳの利用促進、トラックへの応用等による交通環境等の改善を図るべきではないか。

ＥＴＣやスマートプレートを民間にも開放すべきではないか。

ＩＴＳを活用した配車配送計画が実行できるようにすべきではないか。

３ＰＬ等の高度な物流ビジネス環境の構築

《３ＰＬの推進》

物流事業には多層多重な人材育成が必要なのではないか。

人口減少が予想される中、労働集約産業である物流業は省労働力的な体質に転換していく必要があるのではないか。

その他